

令和6年7月31日

目黒区 盛土規制法各種数値取り扱い要領

都市整備課
建築課

盛土規制法の擁壁の構造設計に用いる各種数値の取り扱いは下記の表によるものとする。

なお、目黒区取り扱い要領は「建築物の構造関係技術基準解説書」および「東京都建築構造設計指針」等に準拠し、建築基準法第88条の指定工作物の審査基準との整合を図り、取りまとめたものである。（表右側の数値をご使用ください）

	盛土規制法に係る手引き（設計編）	目黒区取り扱い要領
材料関係	政令、施行令、告示	同左
地盤関係	同上（告示 1113 号）	同左
継手、定着	施行令	同左
要求性能	手引き P. 104	同左
地震力の検討	大規模盛土切土又は高さ 10m 超	大規模盛土切土又は高さ 5m 超 (5m 以下も確認を推奨)
水平震度	中地震時：0.2 大地震時：0.25	中地震時：0.2 (大地震時：-)
転倒安全率	常時：1.5 以上 (中地震時：-) 大地震時：1.0 以上	常時：1.5 以上 中地震時：1.2 以上 (大地震時：-)
滑動安全率	同上	常時：1.5 以上 中地震時：1.2 以上 ※突起を設ける場合は突起なしで 1.0 以上 (大地震時：-)
支持力安全率	※以下は極限支持力に対する安全率を示す。 常時：3.0 以上 (中地震時：-) 大地震時：1.0 以上	常時：長期許容支持力以下 中地震時：短期許容支持力以下 (大地震時：-) ※大地震時確認する場合は極限支持力以下)
部材応力	常時：長期許容応力度以下 中地震時：短期許容応力度以下 大地震時：終局耐力以下	常時：長期許容応力度以下 中地震時：短期許容応力度以下 (大地震時：-)
単位重量	手引き P. 107	同左
付着力 C (粘着力)	考慮しない	同左 (参考：C=qu/2、qu=12.5N)

裏面あり

摩擦係数 μ	$\tan \phi$ (但し 0.6 以下)	同左 (参考 : ・砂質土 $\phi = \sqrt{15N+15}$ 国交省 $\phi = \sqrt{20N+15}$ 大崎式 ・ローム、粘性土 三軸圧縮等による。)
積載荷重	実状に応じて設定	同左 (推奨 10kN/m ²)
土圧	手引き P.112 常時 ・試行くさび法 ・クーロンの式 地震時 ・試行くさび法 ・岡部・物部式	同左

以 上